

A magazine about Shimane Prefecture, Japan

梦之港

Vol. 41

願いを込める手しごと

願いを込めたミツトリヒトギと幸せになる「三つの秘訣」

画竜点睛

願いを込めて獅子頭を製作し、50年

匠心巧手韵芳华

倾注心愿的MITSUTORIHITOGI与结伴幸福的“三个秘笈”

“点睛”达摩

出云狮头50载匠心制作,传统工艺一生守正创新





倾注心愿的MITSUTORIHITOGI 与结伴幸福的“三个秘笈”

李孟群

观赏艺术作品时的奇妙感觉,大概就像MITSUTORIHITOGI(直译:吃蜂蜜长大的菌菇)的设计师田部井真子所说,没有言语说明,或许不太理解,却感觉被什么击中了,让人浮想联翩。犹如《蒙娜丽莎》带着神秘的温柔,《向日葵》给人激情与希望,而你若看到MITSUTORIHITOGI的丝网印刷布艺作品,定能感受到平凡生命里的活力与惊喜。这次我们有幸在品牌创立20周年之际,来到它的出云市老宅工作室,聆听田部井真子老师

讲述作品背后的故事。随着深入了解,就越会发现她创作的起点、历程和未来恰如一段心愿之旅,不论是当中的“坚守”还是“改变”,与幸福的结缘相伴始终不变。

秘笈一:走多远,都记得为何出发

芥末、生姜、紫苏叶,如果听到这三样东西一起出现,爱吃的日料的你是不是已经开始期待一道生鱼片?但要是再加上

願いを込めたミットリヒトギと幸せになる「三つの秘訣」

李孟群

芸術作品を鑑賞する時の感じは、たぶんミットリヒトギのデザイナー田部井真子さんが言った通り、説明がなくても、よく分からないけれど、すごいと圧倒されるものである。例えば、「モナリザ」に神秘的な優しさを感じる、「ヒマワリ」から情熱と希望をもらえる、ミットリヒトギがデザインしたシルクスクリーンの作品を見ると、決まって生き物が伸びていく力で元気と勇気をもらえる。私たちは出雲市内にある古民家を改装したスタジオを訪ね、田部井真子さんから作品の物語を聞き、幸せに思っている。知れば知るほど、田部井さんは制作活動の原点でも、経験と展望においても、ずっと願いを込めて前に進んでいるのだと感じる。それが田部井さんの幸せの秘訣なのであろう。

秘訣一:どこまで進んでも、初心を忘れない

ワサビ、生姜とシソという三つの香辛料を一緒に出されると、和食が好きな人はたぶんそろそろ「刺身」が来るかなと思うかもしれない。しかし、玉葱、山椒と唐辛子を加えると、「薬食同源」が思い浮かぶであろう。ただし、その家庭料理でよく目にするトッピングのような植物は、田部井さんによる「薬味」という作品の

中では、文芸的かつ独特な主役となっている。この作品は、「リピート」の手段で長さ25mの生地大きさが違う10種の薬味がバランスよく並べられ、薬味本来の色ではなく、「黒、黄、グレー」の色合わせで染められたものだから、カッコいい雰囲気は少し可愛さがある。このジェンダーレスファッションのようなデザインは一石二鳥、つまり、ミットリヒトギが表現したい生き物の力強さのモチーフに合致し、かつ男性にも使いやすいということである。この生地ができるまで、コンセプトやモチーフを繰り返して考え、下絵を描き、また染め上がりなど、たくさん工夫をして、3~4ヶ月くらいかかったそうである。この生地で作ったアイテムは、ヘアゴム、ポーチ、バッグ、縫いぐるみなど様々ある。生地の切り方や縫い方によって、商品のデザインは異なる。散々思いを込めて作ったものだから、田部井さんは展示されているオリジナル商品を見ながら、「すべて愛着があるもの、無駄なものがない」と誇りを持って言った。しかし、一番好きな作品と言えば、「それは大学の時の卒業制作で、大きな布を自分で大きく染めたもの。ミットリヒトギの時の物ではないけど、それが自分にとって方向性を決める一番鍵になる作品でした」と言った。振り返ると、最初が親友の柳本真穂さんの励みで二人がコラボ

洋葱、山椒、小辣椒,你可能会沿着“药食同源”的方向有更多思考。只是,在田部井老师的画笔下,这些在家常菜里充当群演的植物,却是一幅名为“药味”的作品中文艺又特别的主角。这幅作品使用“重复”技法,在长为25m的布料中,大小不一、错落有致地排布了10种食材,用“黑、黄、灰”的配色代替食材本色,酷辣中藏着活泼,硬朗里含着温度,好似日本人对“反差萌”的具象诠释。听说这样稍显“中性”的设计既能契合MITSUTORIHITOGI彰显“生命力”的创作初心,也能让男性顾客更易驾驭。一幅布艺的制作过程是从零开始设定主题、选定内容、绘制草图、印染上色到最终加工成型,中间需要对每个环节的反复商讨和打磨,耗时达3-4个月。而对它的完美利用,则是做出发圈、钱包、斜挎包、布娃娃等形态各异的物件,根据布料裁剪、拼接的不同,每件商品的图案都独一无二。正是因为付出了这么多心血,田部井老师看着屋中摆满的原创商品,无不自信地说:“每一件都是心头好。”然而在问及最喜欢的是哪件时,她告诉我那还要属她的大学毕业设,“是在一幅很大的布上染上大块的颜色,虽然那不是MITSUTORIHITOGI的处女作,却是她创作生涯中最关键的作品,因为它决定了品牌的起点和方向”。回顾品牌走过的20年,从最初在最好的闺蜜——柳本真穂的鼓励下合伙在东京创立工作室,到快第10年时决定与家人搬到岛根,再到现在在出云老宅乐业安居,经历了第2个10年。工作环境的改变不但没有影响“想通过作品传递出生命张力来振奋人心”的初心,还使田部井老师更近距离接触自然万千、感知季节变换,不用特意造出什么神奇生物,寻常



可见的一切都是灵感和动力之源,当她把自家院子里种的番茄变成作品的形象代言时,每增加的一分幸福感,都是平实生活给予的回馈。

秘笈二:最大的心愿,是帮他人实现心愿

在MITSUTORIHITOGI的工作中,能让艺术感的设计与实用性的功能双向奔赴的不是丘比特之箭,而是顾客的定制心愿。同一个黄色祥云卷在蓝色天空的图案,你是想在试穿和服时手持这只包漫步青石板路,还是想在一个阴雨天打着这把伞成为赶路中最亮的仔,不同功能和场合下,却能点缀出不



しミットリヒトギを東京で創立し、10年目近くになった時、家族と一緒に島根に引っ越した。そして、出雲にある古民家で事業も家庭も両立するもう一つの10年間を経験した。作業の場所は変わったが、「生き物の力を借りて、見るひとの力になるものを」という願いを変えていない。むしろ、東京より何百倍も自然に囲まれて、季節を意識し、普段目にしていないものの中から魅力を引き出すアイデアが降ってくるような状態に常にある。田部井さんが自宅の庭に育てるキウイなどをモチーフとして作品を生き生きとさせ、だんだんと満ちてくる幸福感は、生活にもたらされたご褒美に違いない。

秘訣二:最も大きな願いは、他人の願いを叶えることだ

ミットリヒトギの手仕事の中で、デザインと実用的な機能を完璧に縁結びするのは、キュービッドではなく、依頼主の願いである。黄色い雲が漂っている出



雲の空というデザインだが、モノによってイメージが異なる。トートバッグとなると、着物の姿で持ちながら青石畳を散策する雰囲気になり、傘となると、雨の日も晴れやかな気分になる。また、収納機能を求めても、使う人に応じて別々に作るようにする。例えば、デートに行くお洒落な女性にとって、カード、スマートフォン、鍵、お札など細かいものが全部一つ小さくまとまるポーチが似合う。それに対して、赤ちゃんがいる母親にとって、両手を空けて赤ちゃん用のお出かけセッ

同的感觉。而对收纳功能的要求,也会因使用人群而灵活应变,如果你是想去约会的白领,那么一个能把“身手钥钱”等各类小物一并囊括的精致手包足以体现品位,而对于宝妈来说,能在带娃上街时既解放双手又能随身备齐手账、奶瓶、尿布等的育儿包,妥妥解决困扰。一款设计变身何种用途,难不倒能工巧匠,田部井老师说,不怕顾客创意多,就怕顾客没想法,哪怕用很长的时间商量出一套双方都满意的方案,她也希望能满足每位顾客的所想所愿。除了接受个人订单以外,MITSUTORIHITOGI还会应政府、企业等委托承接艺术展、进行logo的设计和制作等。从2014年起,开始负责一年一度松江水灯路的灯展,为市民营造光与影的视觉盛宴。还设计了用来收集神社或寺庙印章的“御朱印账”,人们把每次参拜祈愿后获得的印章都印在这一本小册子上,见证自己的心愿之旅。

秘笈三: 让心愿传承 更深、更广、更暖

老宅的客厅里有一个体验丝网印刷的角落,书架上摆放着

20来年田部井老师做过的所有作品的网版,她还亲自为我们展示了工作中最简单的环节——刮颜料,只见蓝色颜料在她的刮板下瞬间浮现祥云图案的那一刻,头一次围观的我们像在看变魔术一般惊喜。我问田部井老师可不可以拜师学艺,她也一脸喜悦地告诉我,其实她在东京时就辅导过一名立志学美术的中学生,直到他(她)高考结束,后来他(她)果真如愿考入了美术大学,如今已经毕业并在东京小有成就了。田部井老师还说,如果在岛根也有怀揣美术梦的孩子来找她,她会非常欢迎,因为她希望每个追梦少年都能像年少时的她一样,从心出发,找到并珍惜自己真正热爱的事,然后纯粹去做,一往无前。田部井老师的心愿关乎一种传承,但传承的不是某个技法或派别,而是时刻忠于内心,将喜欢的事做到极致的精神,如此终能收获幸福吧。说到新年愿望,田部井老师坦诚地说,她希望MITSUTORIHITOGI能像种子一样,播撒生命的力量,在更多人心中生根开花,更希望MITSUTORIHITOGI能更努力地发掘和展现可能连岛根县都不自知的魅力,让更多的人了解岛根、爱上岛根。

MITSUTORIHITOGI在Ins账号的开年问候中写道:“2024年MITSUTORIHITOGI20岁了,田部井和柳本就已然能想象两人笑着迎接50岁生日的样子了,我们希望能将10年凝聚成1



年,让心愿多完成一些,让向往的未来快点到来。”晴朗冬日里,面朝落地窗清晰可见大山的轮廓,正午阳光下荡秋千,微风或许还夹带着腊梅花香,一周中最快乐的两三天能进来享用一顿午餐,不知是美味先满足肚子,还是艺术先让人微醺。相信这对载着共同心愿的伙伴,只要步履不停,幸福就一直都在。



トが入るマザーバックを持つと悩みを解決できる。一つの生地が何に作られるか、プロの職人に任せれば問題ない。田部井さんはこれに対して、「依頼主の思いが多く、長い時間をかけて案を話し合っても、熱い思いがあれば何より嬉しいので、どうしても実現させたいです」と言った。クライアントは個人だけではなく、機関や企業からの依頼があり、展示会や、ロゴデザインを制作したこともある。毎年開催される『松江水灯路』に2014年から出展し、数々の行灯を作り幻想的な夜を飾ってきた。神社やお寺を参拝した人々が、自分の信仰や願いの旅を記録できる御朱印帳デザインを提供している。

秘訣三: 願いを種のように撒き、より深く、広く、温かく

古民家のリビングに、シルクスクリンが体験できるコーナーがあり、田部井さんが20年来作ってきたスクリーンがそこに集めてある。田部井さんは印刷が一番簡単な手作業かなと言いながら、それを見せてくれた。ブルーインクが押し出され、柄が目に見える瞬間は、初めての私たちにとって、マジックを見るように楽しかった。弟子を受けるかと聞くと、先生は「東京の時から美術大学を志望する中学生を大学受験まで教えていた。結局夢を叶えて大学を卒業し、今東京で活躍中です」と楽しそうに話した。それに、「もし島根県にも美術の道へ進みたい

子がいいたら、大歓迎です。夢をかなえたい子が小さい頃の私みたいに、自分の中にある何か生み出したいという心をすごく大切に、素直になってほしいから。」田部井さんが次の世代に受け継いでほしいのはただの技術やスタイルではなく、自分の心に忠実に、好きなことを一途にやり続けるという精神である。それが最終的には幸せにつながると思う。2024年の抱負について田部井さんは、「ミットリヒトギが種のように、生きる力を蒔き、より多くの人の心に根を張り、花を咲かせてほしいです。」そして、「島根県にいいものがたくさんあります。ミットリヒトギは、より多くの人が島根をわかって、好きになってもらうように、デザインで良くして行けたらいいなあと思いますので、もっともっと頑張りたいです」と語った。

冬の晴れた日、田部井さんのお店の中から、大山の輪郭がくっきりと見える。真昼の日差しの中、プランコに揺られ、風は臘梅の香りを運ぶ。金・土曜日には、店でランチも提供している。先にお腹が満足するか、それとも、先に田部井さんの作品にほろ酔い気分させられるか、楽しみにしよう!ミットリヒトギが願いを持って歩き続ける限り、幸せはずっとそばにいと信じている。





“点睛”达摩

门 娟

人类为了抒发情感,无法用语言来形容和表达时就发明了艺术创作,从中融入自己的情感、思想、宗教等因素使得作品具有艺术内涵,符合时代气息,由此迸发出生命力从而得到其他人的喜爱和追捧。

在岛根县松江市有这么一位匠人—堀江努,没有在芸芸众生中随波逐流,而是选择了忠于自己的爱好和内心,成为了一位DARUMA匠人。

一进入堀江先生的家,首先映入眼帘的便是一尊巨大的DARUMA,高约50CM,一眼便知是一项耗时且具有挑战性的工作。询问了主人,果然这是为了见证堀江先生的婚礼从师傅那儿得到的吉祥物。粗粗一看,字迹攒动,杂乱无章,细细一瞧,上面写满的密密麻麻的祝福语,有来自家人的,朋友的,甚至还有无拘束的、自由的小孩的笔迹,可见借由这尊DARUMA大家对于堀江先生的幸福给予了多么大的期待和祝福啊!我想汉语中的“礼轻情意重”已经不能完全表达DARUMA传递的意



画竜点睛

人間は自らの感情を表現するために、言葉で言い表すことができないことにぶつかって芸術を生み出すものである。自らの感情や思想、宗教などを芸術創作に取り入れることで、時代の空気に沿った作品となり、人々に愛され、求められる作品として開花する。

島根県松江市に、雑踏の流れに乗らず、その代わりに、自分の趣味と心に忠実であることを選び、だるま職人になった堀江努さんという職人がいる。

堀江さんの家に入ると、まず目に飛び込んでくるのが、高さ50センチほどの巨大なだるまだ。一目見て、手間がかかり、チャレンジ的な仕事だとわかる。聞けば、堀江さんの結婚の記念に師匠から譲り受けたものだという。だるまには、手書きの文字が並んでいるが、よく見ると家族や友人、さらには自由奔放な子供たちからの祝福の言葉がたくさん書かれており、このだるまを通して堀江さんの幸せを願い、楽しみにしている人たちの気持ちが伝わってくる。「贈り物はささやかでも、その気持ちはあたたかい」という中国のことわざは、まさにこのだるまの意味を表現しているだろう。

家の奥に入ると、1階の一角に和室がある。堀江さんが「だるま」を制作しているアトリエだ。赤から金、黒目が入っているものから入っていないものまで、大小さまざまな色とりどりのだるまが所狭しと並んでいる。和室の温度と湿度



义了吧。

再往里走,一楼拐角处的和室便是堀江先生制作DARUMA的工作室。房间里摆满了大大小小、五颜六色的DARUMA。有红色的,有金色的,有画了黑色眼珠的,还有没画眼睛的……为了制作出更加精美的DARUMA,还刻意保持了和室的温度和湿度。工作室里颜料、画笔、生坯、半成品等林林总总,但似乎又有一种莫名的顺序,让我迫不及待地想倾听这

門 娟

も、より精緻なダルマを生み出すために意図的に保たれている。アトリエには絵の具、筆、何も色付けがされていないもの、半完成品があふれているが、また不可解な順序があるようで、ここにあるすべてのものと主人についての話を聞きたくてたまらなくなる。

堀江さんがだるま制作に取り組んださまざまな理由はすでに予想していたとはいえ、趣味を一生の仕事にしたと聞いて感動し、アーティストの比類ない能力と忍耐力にやはり驚かされた。

だるまは仏教に起因し、達磨法師が座禅を組む姿勢を模した魔除けの品として生まれたもので、邪気を払うとされることから、当初から宗教的な意味合いが強かった。社会の発展とともに、だるまは徐々に装飾品の一種へと進化し、眉と頬は“鶴”と“亀”をイメージしたものが多く、“鶴”は縁起を、“亀”は長寿を表し、現代のだるまは祈願のための縁起物としての意味合いが強くなっている。

芸術の創造には絶え間ない革新と変化が求められる。堀江さんの「出雲だるま」の顔は「龍神」、「勾玉」、「国引き物語」をイメージしたデザインが特徴である。たくさんのだるまの中で、特に注目に値するのは、堀江さんが「神在だるま」を生み出したことである。島根県の出雲大社が古くから全国的に名を馳せていることから、島根県には「神在(じんざい)餅」や「神在(ぜんざい)だるま」



里的一切和主人的故事。

虽然已经预想了堀江先生之所以从事DARUMA制作工作的各种理由,但是真正听到他把自己的爱好变成终身奋斗的工作时还是不由得心生敬佩,让我惊叹艺术家果然有着常人不可比拟的能力和执着的精神。

DARUMA缘起于佛教,模仿达摩祖师坐禅姿势而创作的



など、神在からの派生物も多いように思う。それは縁起を担ぐだけでなく、地域の特色を際立たせ、地元への恩返しもあるだろう。また、堀江さんの温厚で寛大なイメージを思い浮かべると、「だるま」制作における堀江さんの影響なのか、堀江さんのイメージが作品にマッピングされているのかわからないが、作者と作品との間にある共鳴を感じる。これはまさに運命の職人のだろう。

だるまの右目を黒いペンで描きながら願い事をすると、だるまのご加護で願いが叶うと言われているので、見学の最後に運良くとても素敵なだるまのプレゼントをもらった。堀江さんの指導のもと右目を描き、機会があれば左目も一緒に描いてもらおうかどうか躊躇しているうちに、堀江さんはすでにだるまの制作工程を始めていた。堀江さんが集中してペンを走らせる姿は、中国の詩人、張雨が書いた「木工の名や玉工の彫りは伝えられ、巧みな技は天に勝る。」のように匠の心と奇想があって、美しいものが作り出せるのだろう。天の職人技のように精巧な言葉でも、時にはその雰囲気や正確に表現できないことがあることがわかった!

辟邪物,因带有趋吉避凶的说法,于是一开始便有着浓重的宗教色彩。随着社会的发展,DARUMA慢慢地演变成了一种摆饰,且眉毛和脸颊多以“鹤”和“龟”的形象出现,“鹤”代表吉祥,“龟”则代表长寿,因此现代的DARUMA更多变成祈愿的缘起物件。

也许是艺术的创作需要不断地求新求变,或许是情感创作出的艺术需要表达各种生命形式,堀江先生制作的“出云DARUMA”不仅使用了岛根县传统的和纸,而且脸部的眉毛、胡须和鼻子也有着不同的含义。眉毛展示的是掌管水司的龙神,胡须采用了能辟邪的勾玉的形象,而鼻子则刻意融入了酷似岛根半岛的样子。更加值得一提的是堀江先生创作了“神在DARUMA”。因岛根县の出云神社在日本久负盛名,因此岛根县有了很多衍生品,如“神在饼”,“神在DARUMA”等,我想不仅是为了博得好彩头,更是突出地域特色,反哺地方的体现吧。再联想到堀江先生本人温而不怒、宽厚敦朴的形象,不知道是从事DARUMA的制作影响了他,还是他的形象映射到了他的作品上,人和作品之间惺惺相惜的感觉让我惊叹这就是天选打工人吧,从事这项工作真是非他莫属。

据说一边许愿一边用黑笔涂画DARUMA的右眼,有了DARUMA的庇佑,愿望就能更容易实现的说法,因此在参观的最后,我有幸得到了一个非常精美的DARUMA礼物,并在堀江先生的指导下涂上了右眼,还在我犹豫能不能邀请他有机会的话可以一起涂画左眼的时候,堀江先生已经开始给大家展示DARUMA的制作过程了。他拿着笔专注的样子,真正让我领略到了中国诗人张雨笔下的“别有梓人传,精艺夺天工。便使玉人雕琢,妙手略相同。”的诗中所描述的样子。原来即使有巧夺天工这样精美的词语也有不能准确表达心情的时候呢!



商业

商业

商业

商业

商业



五獅願

会多花1倍。

不同地区、不同神社的狮头的造型、面容、表情和颜色各不相同，独具特色。头上的毛由马鬃制成，一般为白色、黑色或棕色。牙齿的形状和颜色与头上的毛等相搭配，就形成了每个神社独有的狮头脸谱。这些特征造就了各地区狮头的个性，也成为节日活动时充分展现当地文化和传统的典型代表。出云狮头是一种传统工艺，所以在传承过程中一般会沿袭狮头的原始面孔，不过随着时代发展，也会有人希望按照喜好进行“换脸”定制，不乏一种创新。



据中尾先生介绍，制作狮头最困难且关键的步骤之一是制作眼睛。眼球必须非常圆润光滑，而且必须安装在黄铜板上。中尾先生需要将黄铜板敲入狮头，使其与眼睛的形状完全吻合。但越是高难度的工序，越能体现中尾先生的精湛技艺和丰富经验，这点睛的一步，赋予了出云狮头独特的表情，使其栩栩如生。专业匠人的“金刚钻”正是狮头传统姿态和鲜明风格得以传承的要素。

“我从未想过放弃。即使我的视力变差，我也会坚持到最后”，中尾先生在他孜孜不倦地工艺制作中，无不践行着这一信念。他用多年的经验和技艺为他的狮头以及其他工艺品赢得了很高的声誉。如今，82岁高龄的中尾先生仍然秉持着手工匠人不减的热情，奉献着光与热，让地方传统文化生生不息、熠熠生辉。

狮头不仅仅是一件手工艺品，同时也作为驱魔辟邪的文化象征，代表着日本人的文化与精神世界。狮头的工艺制作中凝结着中尾先生的信念与心愿，他愿人们都能永葆活力、平安健康，也愿岛根岁月静好、昌盛繁荣。

出云狮头50载匠心制作，传统工艺一生守正创新

Bianca Chan

在春节等的传统节日庆典上，人们常会舞狮辟邪。而舞狮当中，最受瞩目的要数“狮头”。为了传承经典，岛根县雕刻家中尾芳雄先生（雅号：中尾芳山）倾注匠心50载，制作出了全日本唯一能够口耳联动的舞狮头——出云狮头。因工艺精湛，出云狮头于2005年被认定为岛根县地方传统工艺品。

出云狮头的制作从严选木材开始，木材选好后需进行5年的干燥处理，经历数道工序，最终得以完成。每天工作8小时，全程耗时1-2个月，成品轻巧而结实。中尾先生每制作一款狮头，都会多做一个样品，既方便顾客进行比较、挑选，也可以留一个备用，为日后需要售后翻修时提供参考。但时间和精力也自然

五獅願



願いを込めて獅子頭を製作し、50年

お正月やお祭りの際に邪気払いのために舞われる獅子舞。その中でも「獅子頭」が注目を集めています。50年以上にわたり、中尾芳雄さん（彫号：中尾芳山）は情熱を注ぎ、全国で唯一、口を開けると一緒に耳が動く獅子舞「出雲獅子頭」を生み出しました。その優れた工芸技術が認められ、平成17年には島根県ふるさと工芸品に指定されました。

ビアンカ・チャン

出雲獅子頭の製作は木材の厳選から始まり、5年間乾燥させ、様々な工程を経て完成します。毎日8時間かけ、1か月から2か月かかる製作プロセスを通じて、軽くて丈夫な獅子頭が誕生します。また、注文を受けた獅子頭は必ず2つ作るのだそうです。1つの作品に対して、実は2つ分の労力がかかっています。中尾さんが毎回2つ同じものを作ることで、お客さんがどちらかを選ぶことができるし、また将来の修理の際の参考にもなります。

獅子頭の形態、顔や表情、色は地域や神社により異なり、それぞれの独自の特徴を持っています。頭部の毛には馬のたてがみが使われ、一般的に白、黒、茶色になっています。歯の形や色、頭部の髪などの組み合わせによって、神社それぞれが独自の獅子頭の顔を作り上げています。これらの特徴は、地域ごとに異なる獅子頭の個性を形成し、祭りや行事において地域の文化や伝統を豊かに表現しています。出雲獅子頭は伝統工芸であり、昔からの顔が守られていますが、最近一般の人が注文する際に顔を変えたいと考えることも許容されているそうです。

中尾さんによると、獅子頭を製作する際、最も難しい工程の一つは目を作り上げることだそうです。目玉は非常に丸く滑らかに仕上げなければならず、それを真鍮の板に取り付ける必要があります。その真鍮の板を獅子頭の目

の形にぴったりと合うように打ち込むことが中尾さんには求められます。中尾さんの技術と経験がこの難しい工程で輝き、出雲獅子頭がその独自の表情を持ち、命が吹き込まれます。熟練した技巧が、獅子頭が伝統的な姿勢や力強い風格を備える際に不可欠な要素となっています。

「あきらめることを考えたことない。目が悪くなくても、続ける」という信念が中尾さんの手によって、出雲獅子頭の製作にも反映されています。長年にわたる経験と技術は、獅子頭やその他の工芸品において高い評価を受けています。82歳になる今年も、中尾さんは職人としての情熱を持ち続け、地

元の文化や伝統を豊かに彩り続けています。

獅子頭は単なる工芸品を超え、魔除けや厄払いの象徴として、日本の文化と精神を代表する存在となっています。伝統工芸としての獅子頭は、中尾さんの信念が込められ、願いと希望を持って人々に活気をもたらし、地域の平和と繁栄を祈る大切な役割を果たしています。



A magazine about Shimane Prefecture, Japan <http://www.pref.shimane.lg.jp/bunkakokusai/>

梦之港 编辑：門 娟、李孟群

Publisher: 岛根县环境生活部文化国际课

关于本杂志，您有任何疑问或疑问请与我们联系。
1 Tonomachi, Matsue-shi, Shimane-ken 690-8501, JAPAN 发行：岛根县环境生活部文化国际课



Felipe Nascimento Donovan Goto Lee Jung-Hyun Bianca Chan Men Juan Li Mengqun